前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人	法人にあっては名称)										
<sub>ロ</sub> ヒルタ	ヒルタ工業株式会社						〒 714-0062 新 笠岡市茂平1410				
名   <sup>E ルタ 工 美 休 工 芸 代 </sup>   所   笠 岡 市 茂 平 1410   本 票 作 成   部署名: I S O / B C P 推進室											
主たる業		<u>ロ</u> }類 ード			· 月機械器具製i	生. 坐					
土たる未	7里 コ、	ード	31 未催石.	押心方	17	旦禾					
事業の 概 要	自動車	車部	品の製造 イ	<b>芷業員</b>	:888名						
県内の 主 な 工場等	番号		工場等の名称				所 在 地				
	1	笠	岡工場	笠岡	笠岡市茂平1410						
	2	総	総社第1工場			総社	総社市井尻野61				
	3	吉	吉備工場				総社市久代2211-5				
	4	総	総社第2工場			総社	総社市真壁1530				
	(5)	水	水島事業所			倉敷	倉敷市南畝2-72-2				
	6	下倉事業所				総社	総社市下倉540				
特定事業	者区	1)	然料等原油換算1,	500klL	以上   ②バス・	・ トラック100台	î、タクシー250 <sup>.</sup>	台以上[	③CO <sub>2</sub> 換算	i3,000t以上	
の該当要	件 (		二場等の数		6 所	●車両 <sup>·</sup>	台数(②該	当の場合	7)	台)	
温室効果カ	ia 基	準年	E度(平成 21	年度)	( 平成	26 )年月	度排出量	目標年月	度(平成	26 年度)	
排出量			18,753 t	$CO_2$		17, 36	66 t CO <sub>2</sub>		17, 81	5 t CO <sub>2</sub>	
	番	番号    工場			名称		(平成 26 )年度排出量				
	(	① 笠岡工場					7, 574 t CO <sub>2</sub>				
ナシエ田		② 総社第1工場				2, 926 t CO <sub>2</sub>					
主な工場 の排出量		3	吉備工場	場			5, 919 t CO <sub>2</sub>				
	(	4	総社第2工場				917 t CO <sub>2</sub>				
	(	5	水島事業所				0 t CO <sub>2</sub>				
	(	6	下倉事業所				30 t CO <sub>2</sub>				
	計	直直	期間: 平	成 2	22 年度	~	平成 26	年度	( 5	箇年度)	
削減目標	の	7) □				減実績	目標削減		•	達成	
達成状況	兄				$\triangle 4.9$	% 5.0 %				☑ 未達	
	NH /			5 Lt 1. B		·					
(原単位基の削減日標	:準	至勿	果ガスの排出量と犯	治接な医	目体をもつ値の内		原単位当たり排出量 基準年度 ( 26 ) 年度 目標年度				
の削減目標 選択してい		加コ	加工高実績			-	2. 367 2. 482 2. 249				
場合に記入	.)		, ,,,,,,			t CO2Æ	t CO <sub>2</sub> (百万円 ) t CO <sub>2</sub> (百万円 ) t CO <sub>2</sub> (百万円 )				
(該当事業	美者のみ	×記フ	()								
ベンチマー	ーク	対	象事業の名称		ベンチマーク	′指標	関連数値	重(平成	26 年度	) 達成率等	
指標の状	況										
【削減状	況の自	己	評価】								
			EDランプに更	新した	-り エアーコ	エンプレッ	サーをイン	/バータ〒	だに更新す	っったどの	

一部の水銀灯をLEDランプに更新したり、エアーコンプレッサーをインバータ式に更新するなどの 省エネ改善を行なった結果、温室効果ガス排気量は削減できたが、原単位当たりの排出量は悪化して しまった。今後さらなる生産効率の向上に努めていきます。

## 【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備。 ・ISO14001に基づき、本部長をトップとした環境管理体制のもと、環境改善を推進。 上記の体制の維持及び推進をおこなった。

_【目標削減率達成のために実施	直した措置及び今後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
笠岡工場	(H26年度実施分) ・少量生産設備集約によるコンプレッサーなどの稼働時間削減 (C02削減量:28 t/年)
総社工場	・高圧変圧器の高効率に更新 (CO2削減量:28 t/年) ・水銀灯をLEDランプに更新 (CO2削減量:48 t/年) ・75kwエアーコンプレッサー1台を37kwインバータ式エアーコンプレッサー1台に更新
吉備工場	(CO2削減量:91 t/年)
	・水銀灯をLEDランプに更新 (CO2削減量:117 t/年)
全社	
笠岡工場	(今後実施予定分) ・エアーコンプレッサーをインバータ式へ更新 (2台更新検討)
総社工場	・明り取り天井の更新(不要照明の消灯: CO2削減量 0.7/年)
吉備工場	・エアーコンプレッサーをインバータ式へ更新 (75kw1台を37kw1台に更新)
	・照明設備の更新(LED照明の導入検討)
	・高圧変圧器を高効率化に更新

## 【森林保全等吸収源対策への取組】

県内で の取組	無	
その他	無	

## 【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

## 【その他特記事項】

塗装のトロリーコンベアーの駆動部をインバータ式に更新して速度アップし、運転時間を短縮することによりエネルギー の省エネを図った。